

■令和3年第3回定例会議案一覧

議案 番号	市長提出議案
36	教育委員会委員の任命 (太田孝雄氏)
37	伊良湖温泉給湯施設の設置及び管理 に関する条例
38	田原市と豊橋市との間の広域ごみ処 理施設の整備運営に関する事務の委 託
令和3年度補正予算	
39	一般会計補正予算(第3号)
令和2年度歳入歳出決算認定	
40	一般会計
41	国民健康保険特別会計
42	田原福祉専門学校特別会計
43	後期高齢者医療特別会計
44	水道事業会計
45	下水道事業会計利益の処分及び決算 認定
追加議案	
議案 番号	市長提出議案
46	監査委員の選任(河合孝喜氏)
令和3年度補正予算	
47	一般会計補正予算(第4号)

議案
番号

議員提出議案	
意見書1	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
意見書2	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

今定例会では、賛否の分かれた議案はありませんでした。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案
No.37

伊良湖温泉給湯施設の設置及び管理に関する条例

問 禁止行為の中に「他人の利用を妨げること」とあるが、あえて条例に明記した理由は。

答 特定の人独占的に利用するなど、他の利用者の妨げになるような行為を制限できるように明確化するため。

問 温泉水1リットル3円とした単価の根拠は。

答 維持管理費に工事費を合わせた額と、想定される最大揚湯量を基に算出した。

問 旅館など利用者によって使用量に大きな差があるが、金額に差をつけるという考えはないか。

答 管理を指定管理者が行う場合、1リットル3円を超えない範囲で、市の承認を得た上、利用料金として額を定めることになっており、その中で差をつけることは可能となっている。

(9/6 総務産業委員会)

議案
No.38

田原市と豊橋市との間の広域ごみ処理施設の整備運営に関する事務の委託

問 委託事務の管理および執行に伴う収入として、国からの交付金収入、売電収入を見込んでおり、売電収入は全て豊橋市の収入になると規定されているが、本市の収入にならないのか。

答 売電収入は全て一旦、豊橋市の収入とした後、豊橋市から本市分の収入を受け取るようになっていく。

問 両市の案分はどうなっているのか。

答 当該年度における両市の焼却ごみ量割で算出する。

問 案分について、本規約では規定されていないが、どこで規定するか。

答 今後、協定書を作成、規定していく。

(9/6文教厚生委員会)

議案
No.39

令和3年度一般会計補正予算
豊橋田原ごみ処理施設整備運営事業

問 広域処理施設整備における費用負担の考え方は施設整備年度の両市の推計ごみ量割とのことだが、どの程度の案分となるのか。

答 家庭系、事業系のごみ量を推計したところ、本市が約11%となる。

問 運営費の費用負担の考え方は。

答 当該年度の両市のごみ量の実績で案分する。